

# 事務事業評価シート(平成20年度実績分)

## (1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
08118	子育て支援センター活用事業	教育委員会	こども係	林 一昭	原 照代
		一次評価年月日	平成 21 年 6 月 18 日	連絡先(内線)	2504
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0371	保育園運営事務	
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)		2章	安らぎとるおいのある社会
		節 (コード選択)		1節	地方分権化に積極的に対応する
		項[基本施策] (コード選択)		212	子育て支援の推進
		主な取り組み (コード選択)		2129.2	子育て支援センターの活用
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 17 年度 ~ (終了予定)	年度	L	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし

## (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

未就園児とその保護者、育児の悩みを持つ保護者を対象とした子育て支援

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

子育ての悩み、不安の解消と子育ての楽しさを実感できること。また、母親同士のかかわりを広げ、子育ての視野を広げる。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 未就園児の親子の子育て支援、遊びの提供、悩みや不安の相談にのる。
- センターの職員と、親子の楽しく安定したかかわりの広がり。外部専門機関との連携をとる。
- こどもの発達段階を知らせ、望ましい子育ての方向を保護者と一緒に考えアドバイスする。
- 専門知識を持った相談員の派遣、職員研修への参加。

指標化

## (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		19年度	20年度	21年度(見込み)		22年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	子育て支援センター登録数		組	1,000	1,220	1,400	1,600
	説明	子育て支援センター登録数(初回のみ1世帯100円)		目標値設定の根拠	実施年度からの推計			
②	指標名	子育て支援センター来館者数		人	12,771	11,603	11,603	11,603
	説明	子育て支援センター来館者数		目標値設定の根拠	実施年度からの推計			

## (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		19年度	20年度	21年度(見込み)		22年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	子育て支援センター来館者相談件数		件	103	103	103	103
	説明	子育て支援センター来館者の相談数		目標値設定の根拠	実施年度からの推計			
②	指標名	子育て支援センター町外利用者数		人	246	100	100	100
	説明	子育て支援センター町外利用者数		目標値設定の根拠	箕輪町に新設されたことにより減少			

## (5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成19年度決算	平成20年度決算	平成21年度見込み	平成22年度見込み																
			17,359	17,359	17,497	17,497																
対前年比		%		100	100.8	100																
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)			3,436	3,436	3,436	3,436																
B) 一般財源(税金)			13,923	13,923	14,061	14,061																
①事業費		(千円)	3,939	5,081	5,268	5,268																
対前年比		%		129	103.7	100																
②人件費の概算		(千円)	13,420	12,278	12,229	12,229																
対前年比		%		91.5	99.6	100																
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費											
			H20	H21	H22	H20	H21	H22	H19	H20	H21	H22										
町職員(正規職員)			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.05	0.05	0.05	1.20	1.05	1.05	1.05	9,920	8,842	8,793	8,793
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート									3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3,500	3,436	3,436	3,436

**(6) 項目別評価 [Check]**

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある      B 変化していない C 減少傾向にある      D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある      B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる      D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である      Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している      Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった      C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している      A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある → C 今後可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし      C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし      C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している      A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している →      利用者から直接、意見、感想、要望など聞き参考にしている。 C 把握していない

**(7) 改革改善 [Action]**

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する     
  イ. 見直しのうえで継続する     
  ウ. 終期設定     
  エ. 廃止     
  オ. 休止

**〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)**

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

**(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)**

時期(年度)

**事業改善の経過**

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

**事業の方向性の具体化**

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

子育て中の親の子育てへの負担感の緩和を図り、安心して子育てが出来る環境を整備し、育児相談・子育て支援講習会・子育て情報の提供をしていく。

21年度予算見積書への反映  あり  なし

[反映内容]

子育て支援センター継続

**(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)**

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

事業の成果は上がっていると思うが、現状に満足することなく、さらに質的向上を求めたい。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

- A. 貢献度 大       D. 上位施策なし  
 B. 貢献度 中  
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持     
  イ. 見直しのうえで継続する     
  ウ. 終期設定     
  エ. 廃止     
  オ. 休止



上記 a~e を選択